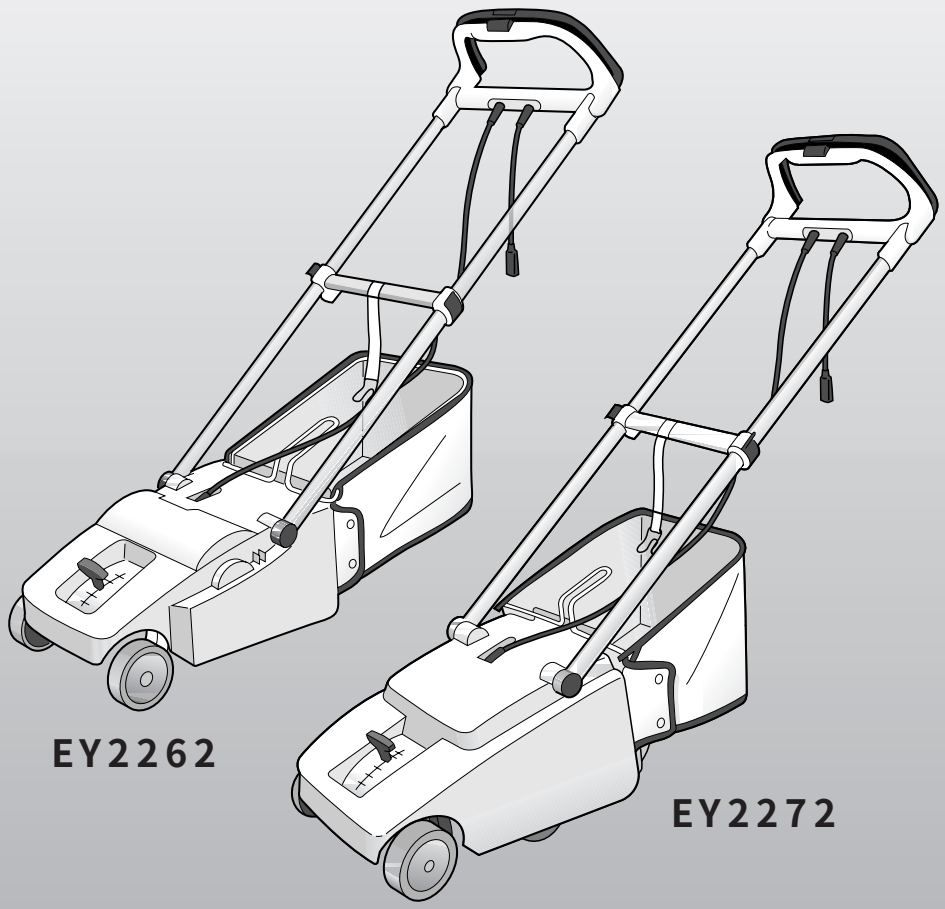
National
松下電工

保証書別添
保　管　用

庭園芝刈機 リール式

EY2262-W
EY2272-W

取扱説明書



ご使用前に
- 安全上のご注意 …… 1～2
- 各部のなまえ …… 3
- ご使用前に …… 4

使いかた
- 使いかた …… 5～10
- 上手な使いかた …… 11～12

お手入れ
- お手入れ …… 13
- 保管 …… 14

こんなときは
- 切れ味が悪くなったら（刃の交換） …… 15～17
- 芝や異物がからんで動かないときは …… 18

お知らせ
- 別売品・仕様 …… 19
- 故障かな？と思ったとき …… 20
- オーバーシードについて … 21～22
- 保証とアフターサービス …… 23

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

・ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。
・ 誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を下の表示マークで区分しています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容	⚠ 注意	人が傷害を負う危険性及び物的損害のみ発生が想定される内容

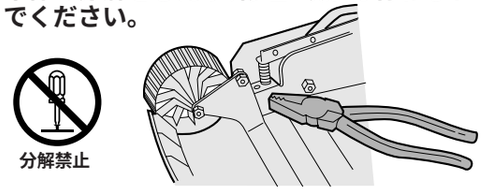
●絵表示の例

⃠記号は、禁止を告げるものです。(左図の場合は分解禁止)

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は電源プラグからコンセントを抜いてください)

⚠警告

● 修理技術者以外の人は、本取扱説明書にない本体の分解をしたり、修理・改造は行わないでください。



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

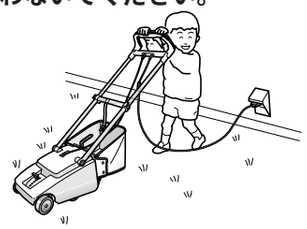
● 水につけたり、水をかけたりしないでください。雨ざらしにしないでください。雨中で使用しないでください。湿った場所や、ぬれた場所で使用しないでください。ぬれた手で使用しないでください。

ショート、感電のおそれがあります。

● 芝刈り作業以外には使用しないでください。

事故やけがの原因になります。

● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。

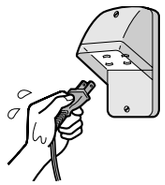


けがのおそれがあります。

● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電、ショート、発火の原因になります。

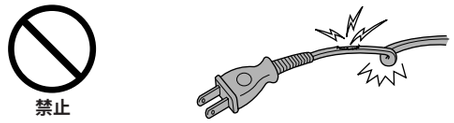
● ぬれた手で抜き差ししないでください。



感電のおそれがあります。

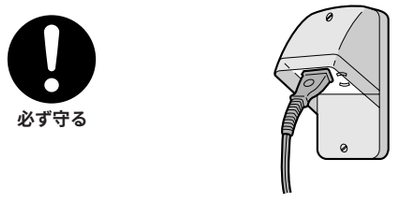
⚠警告

● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



電源コードが破損し、感電、発火の原因になります。

● 必ず交流100Vで使用してください。

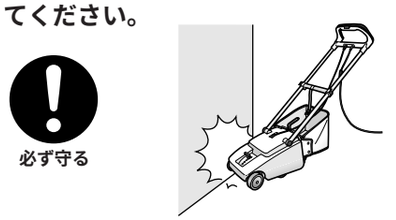


直流電源やエンジン発電機または変圧器などを使用すると感電や火災を起こすおそれがあります。

● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

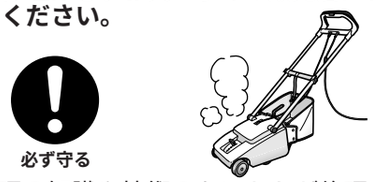
・ 守らないと本体が動作してけがのおそれがあります。
・ 絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

● 本体を誤って落としたり、ぶつけたときは破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。



破損や亀裂、変形があるとけがのおそれがあります。

**● 本体が熱くなったり、異常に気付いたときは点検・修理に出してください。
修理は必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。**



修理の知識や技術のないかたが修理されますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの原因になります。

⚠注意

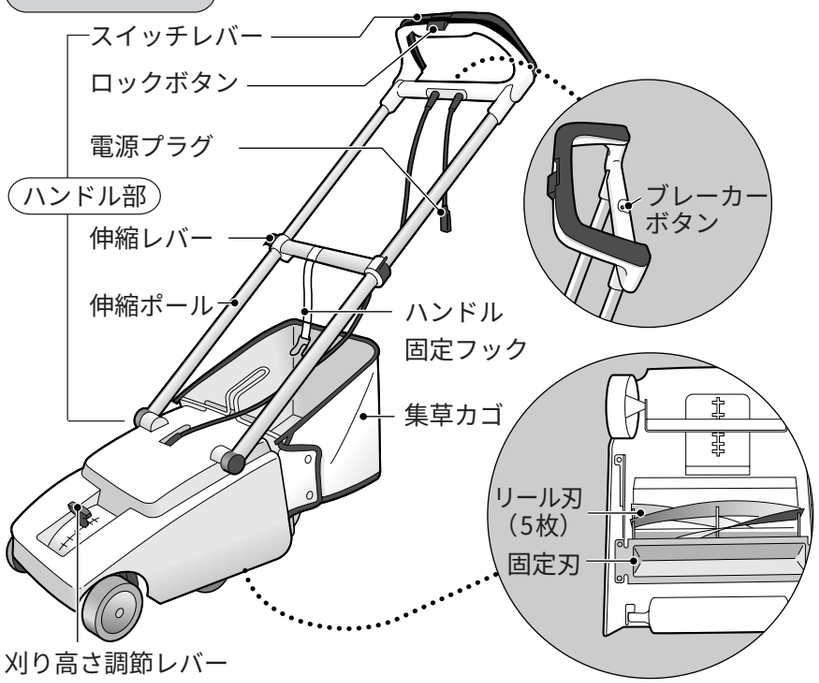
● ご使用前に電源コードや本体の部品が損傷していないか点検してください。
守らないと、感電やけがの原因になります。

● スイッチ「OFF」を確かめてから電源プラグを抜き差ししてください。
守らないとけがや感電のおそれがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
守らないと、感電やショートして発火することがあります。

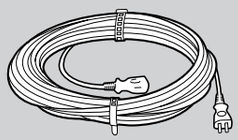
各部のなまえ

EY2272

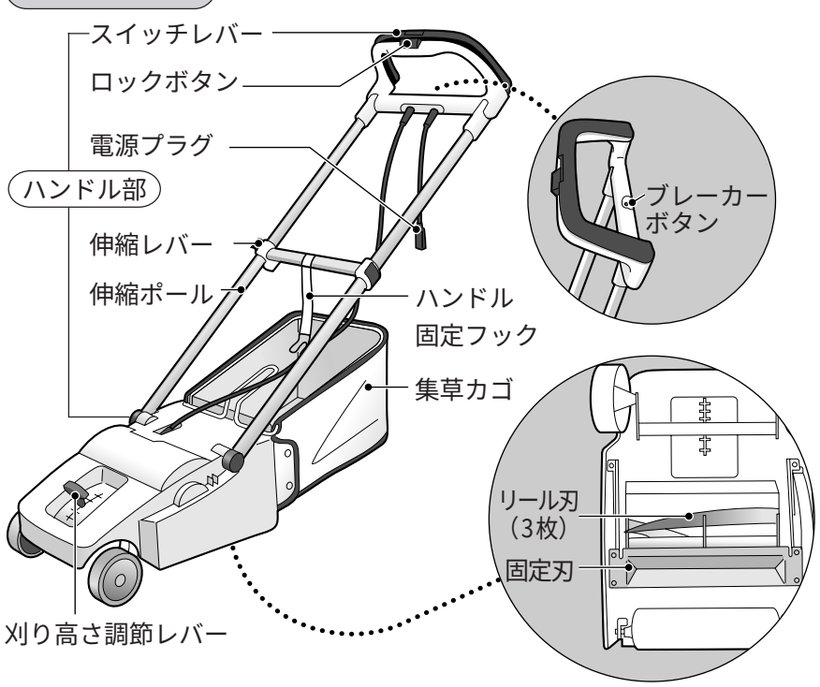


付属品

- 延長コード（15m）

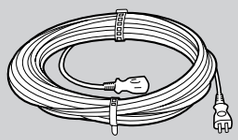


EY2262



付属品

- 延長コード（15m）

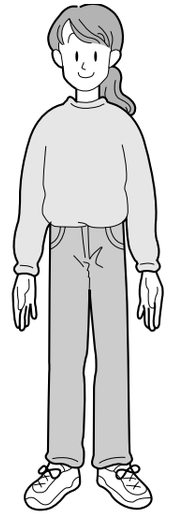


ご使用前に

安全で活動しやすい服装を着用する

⚠注意

- **長そで・長ズボン・運動ぐつ等を着用ください。**
  刃に小石などが当って飛散し、けがのおそれがあります。

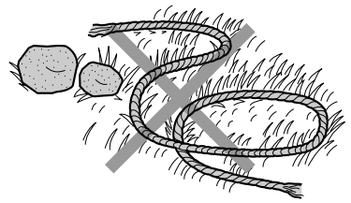


芝刈りする場所を点検する

⚠注意

- **刈り込みを行う場所に障害物がないか点検してください。**
  事故やけがの原因になります。

- ぬれ芝は刈らないでください。
  （性能が発揮できないだけでなく、故障の原因になります。）
- 小石等、固い物は刃に当たるとカケ、ワレまたは飛散をまねくため、取り除いてください。
- ひも等、からみつく物は取り除いてください。
- 雑草は事前に刈り取ってください。

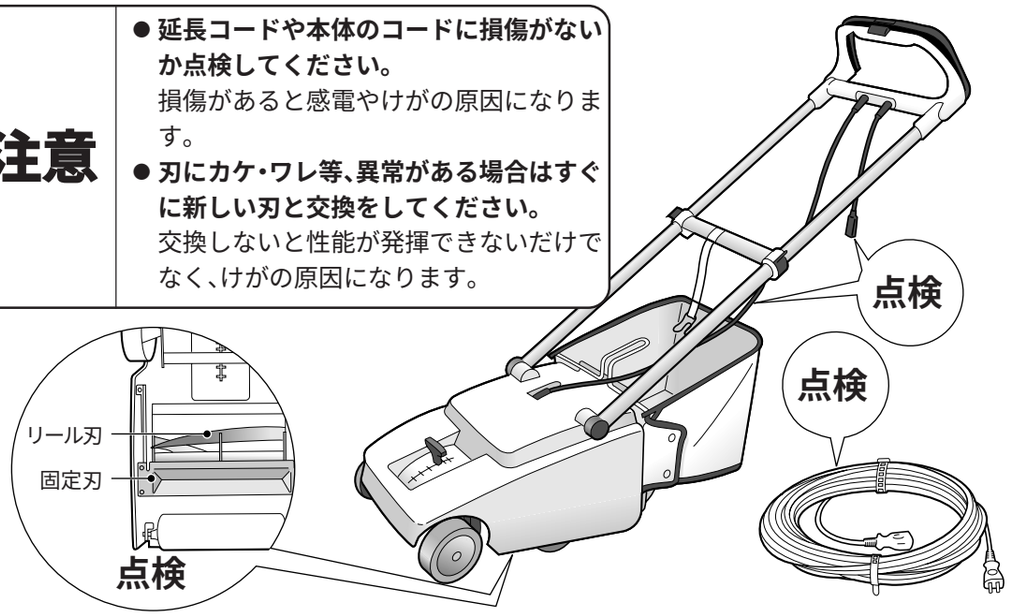


刃・延長コード・本体のコードを点検する

（点検前は必ず延長コードプラグをコンセントから抜く）

⚠注意

- **延長コードや本体のコードに損傷がないか点検してください。**
  損傷があると感電やけがの原因になります。
- **刃にカケ・ワレ等、異常がある場合はすぐに新しい刃と交換をしてください。**
  交換しないと性能が発揮できないだけでなく、けがの原因になります。



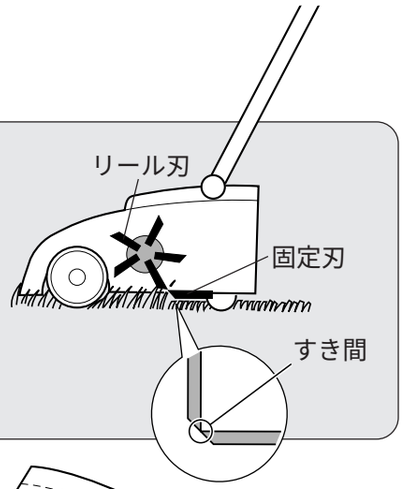
使いかた（準備）

1 リール刃と固定刃のすき間を調節する

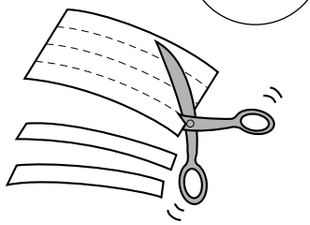
● すき間調節を行うときは、必ず延長コードプラグをコンセントから抜いてください。
また調節時は必ず手袋を着用ください。

なぜ、すき間を調節するのでしょう？

● リール式芝刈機はリール刃と固定刃の2枚の刃があり、リール刃が回転して固定刃との間に芝をはさんだ瞬間に芝を刈り込みます。このため、リール刃と固定刃のすき間が芝の切れ味を左右し、刃先の摩耗ですき間が変化するため、調節が必要となるのです。



❶ ハガキもしくはハガキと同等の厚さの紙を幅15mm程度に切っておく

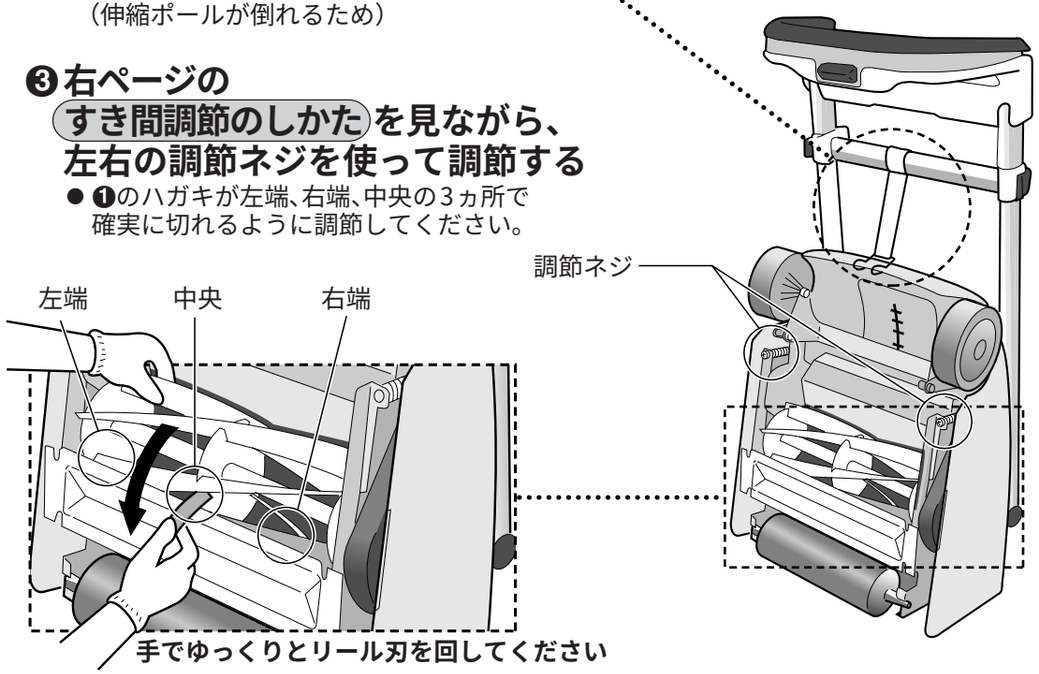


❷ 本体を図の様に立たせる

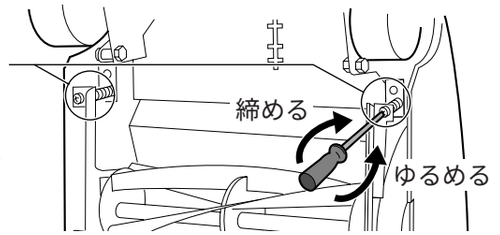
● 平坦な場所に立たせてください。
● 必ずハンドル固定フックを本体に引っかける。
（伸縮ポールが倒れるため）

❸ 右ページの すき間調節のしかた を見ながら、左右の調節ネジを使って調節する

● ❶のハガキが左端、右端、中央の3ヵ所で確実に切れるように調節してください。



すき間調節のしかた

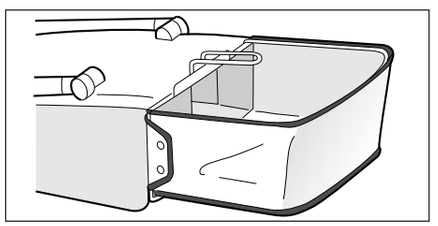


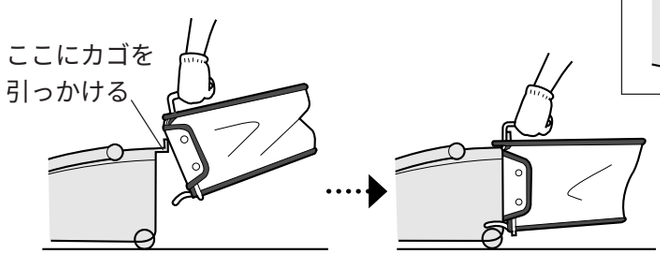
（調節のポイント）
リール刃と固定刃を当て、動かなくなってからゆるめる方法で調整を行ってください。

手順	ネジ調整	ハガキの切断状態	刃の動き具合（手で回して確認）	リール刃と固定刃の距離	作業状況
①	刃が動かなくなるまで締める（締めすぎに注意）	切れない	動かない	接　触	作業できません。（刃が動きません。）
②	少しゆるめる	切れる	動くがガリガリと音がうるさい	接　触	・作業音がガリガリとうるさい。 ・刃先を傷め刃寿命が短くなる。
③ 完成	②より更に少しゆるめる	切れる	動　く	接触するかしないかの距離	最適です。きれいに刈り込めます。
④	ゆるめすぎ	確実に切れない	動　く	離れている	芝の切り口が悪くなり、立ち枯れをするおそれがあります。

ゆるめすぎたら①にもどる

2 集草カゴを取り付ける



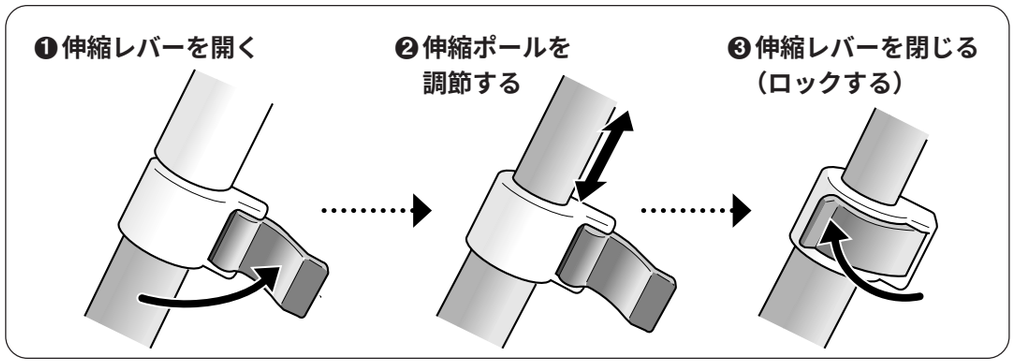


⚠警告 ● **必ず集草カゴを取り付けて使用してください。**
けがのおそれがあります。

使いかた(準備)

3 伸縮ポール(左右とも)の長さを調節する

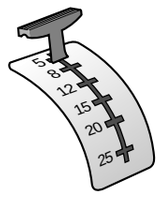
● 刈りやすい姿勢に合わせて調節してください。



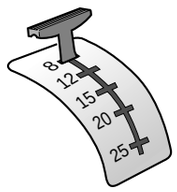
4 刈り高さを設定する

● 数値は芝の長さ(mm)の目安です。お好みの高さに調節してください。

EY2272は6段階調節が可能です

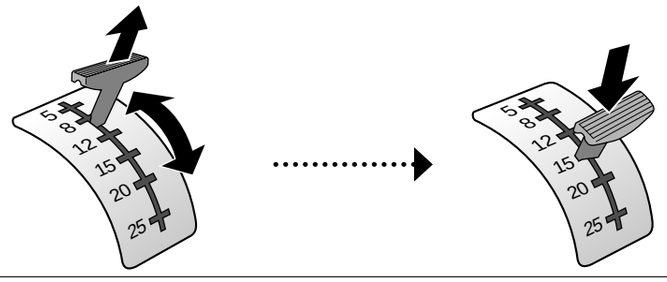


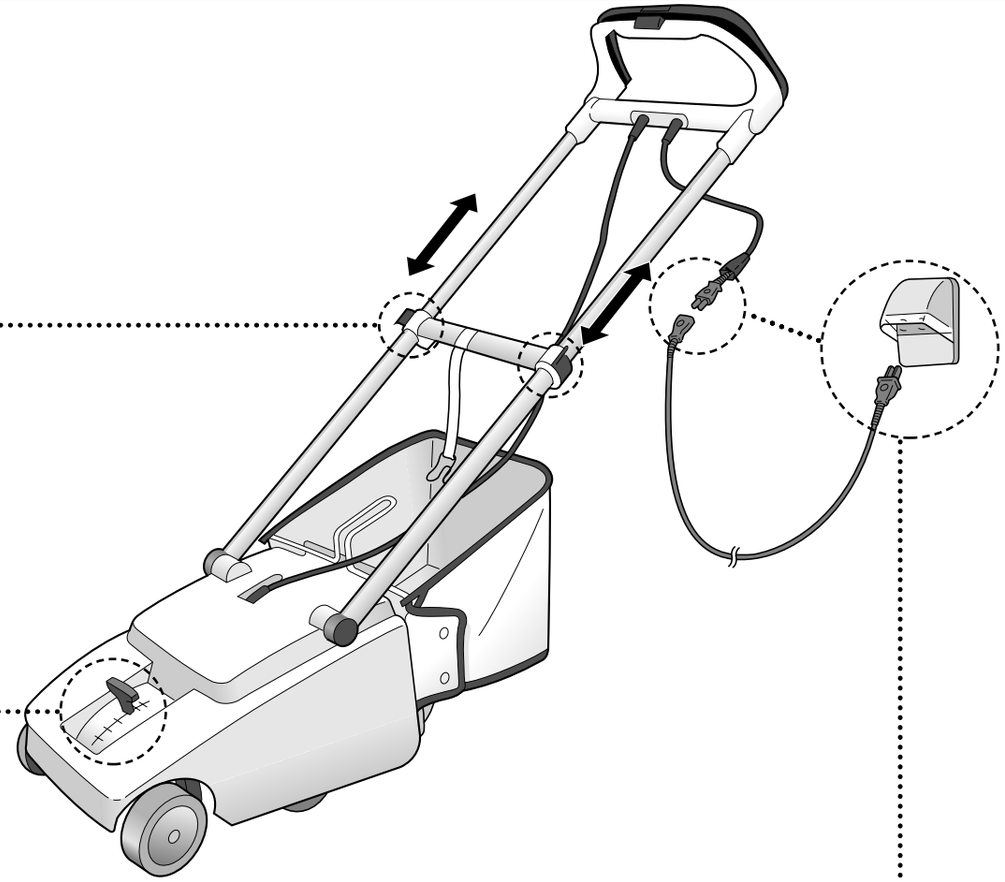
EY2262は5段階調節が可能です



❶刈り高さ調節レバーを上に引っぱりながら前後に移動

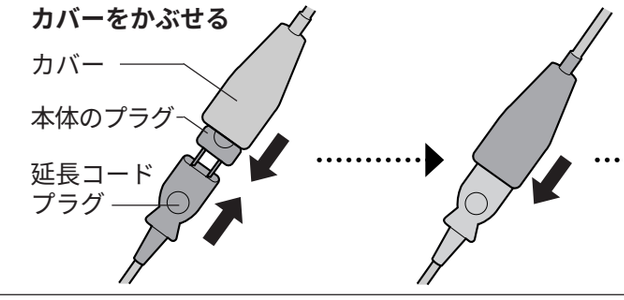
❷お好みの高さで戻す



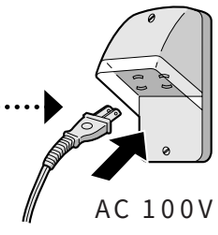


5 電源プラグを接続する

❶本体のプラグと延長コードプラグを接続し、カバーをかぶせる



❷延長コードプラグをコンセントに差し込む



⚠警告 ● **延長コードは当社付属コードを使用してください。**
プラグカバーのないものを使用すると感電のおそれがあります。

使いかた（作業）

※芝の状態によって集草性が異なります。
また、集草性が悪くなったときは芝がつまっているときがありますので取り除いてください。（手袋を着用して行ってください。）

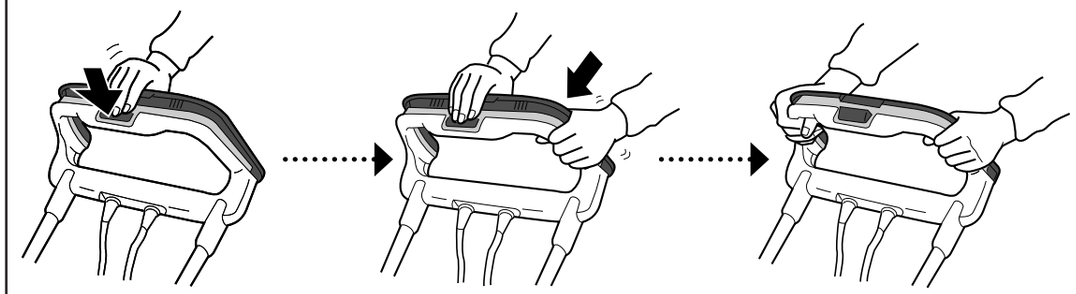
スイッチを入れ、芝を刈る

（芝の刈りかたについては、P11～12の上手な使いかたを参照ください）

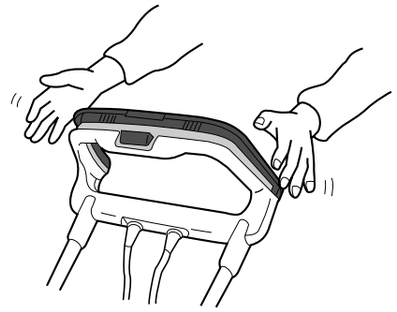
❶ロックボタンを押す。

❷ロックボタンを押しながら、もう一方の手でスイッチレバーとハンドルをにぎって押し込む。（刃が可動します。）

❸ロックボタンをはなし両手で持って作業する。



手をはなすとスイッチレバーがもどり本体が止まる
●再び動かすときは上記の手順で



※本体保護のため30分以上使用する場合は、途中に10～15分本体を休ませてください。

作業が終わったら

●スイッチをはなして刃が停止してから、電源プラグを抜いてください。
●必ずお手入れをしてから保管してください。（P13～14参照）

⚠警告

- **可燃性の液体やガスのあるところで使用しないでください。**
  爆発や火災のおそれがあります。
- **雨中や水たまり、及び散水直後は使用しないでください。**
  感電のおそれがあります。
- **刃に手、足など絶対に触れないでください。**
  けがのおそれがあります。
- **スイッチレバーを持って運ばないでください。**
  本体が不意に動き出してけがのおそれがあります。

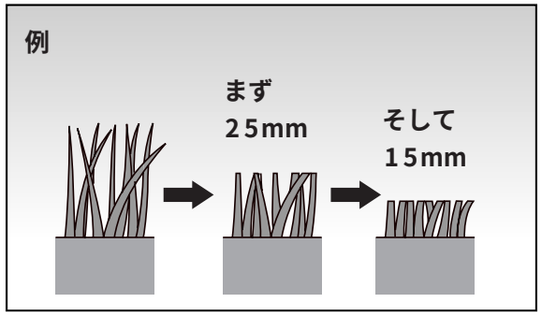
⚠警告

- **作業中、刃や器具で電源コードを引っかけないようにしてください。**
  感電のおそれがあります。
- **30分以上使用する場合は、途中に10～15分間の休憩をとって手や指を休ませてください。**
  連続使用すると手がしびれてハクロウ症の原因になるおそれがあります。

上手な使いかた

長い芝は順次短く刈る

- 最初から短く刈ると、芝がからみついて本体の機能を低下させると同時に芝生を傷めるおそれがあります。
- 100mm以上の芝は刈れないことがあり、無理に刈ると軸刈になり芝生が枯れることがあります。
（あまり長い芝にしないでください。）



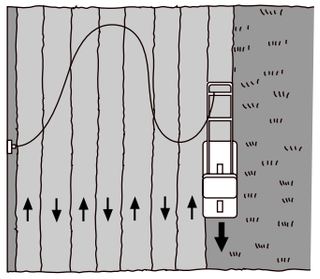
芝地を平坦にする

目土を入れたり、ローラー（市販品）で転圧、もしくは足で踏みならし、芝地を平坦にしてください。
刈りムラを抑えることができます。
（芝地が凸凹な場合、芝生を傷めるだけでなく、刃の切れ味が悪くなるおそれがあります）

電源コンセントに近い方から刈る

芝生の刈り込みは、電源コンセントの近い方から行うとコードがじゃまになりません。

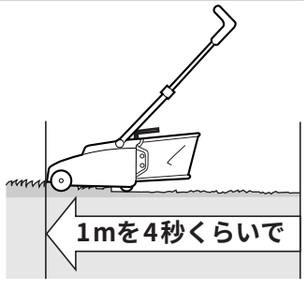
コードを切断しないように、ご注意ください。



ゆっくりと刈る

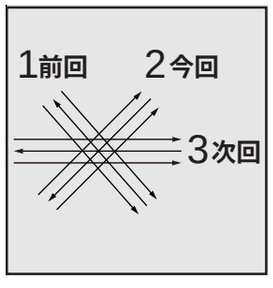
- 刈り込みの速さは、芝生のはえ具合に合わせてください。
1mを4秒ぐらいで動かすのが目安です。
- 輪だち後は芝が倒れていますので、しばらくしてから刈ってください。

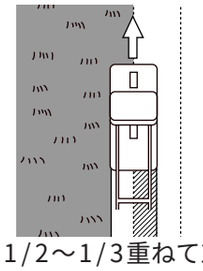
回転が著しく遅くなったり、ブレーカが動作する場合は、さらにゆっくりと刈ってください。



角度を変えて重ねて刈る

刈り込み方向を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防げます。
また、一度刈った部分を重ねて刈ると、ムラを抑えることができます。



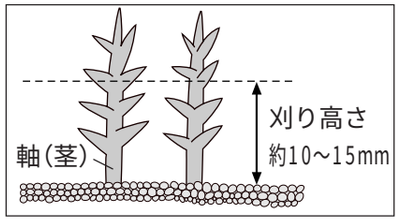

1/2～1/3重ねて刈る

芝を5mmに短く刈る方法（EY2272のみ）

今ある芝生をそのままの状態で5mmに短く刈り込むと、芝が茎だけとなり弱まります。
下記の手順を参考に、5mmの高さに刈り込んでください。
時期は、芝の生長期の5～9月が適しています。
※お断り：栽培条件、天候などによりその結果が異なる場合があります。お客様ご自身の判断と責任のもと実施してください。

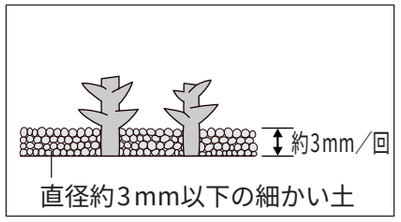
1 約10～15mmに刈り込む

- 刈り高さを約10～15mmに調節し、芝の軸（茎）だけにならないように葉を残して刈ります。
（1回に刈る長さは草丈の1/3～1/2に抑えてください）



2 目土（目砂）を入れる

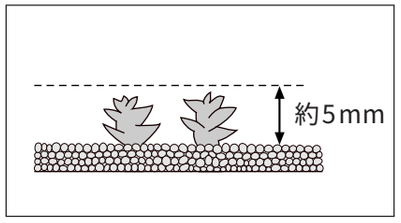
- 目土を芝地から約3mmの高さまで芝地に入れ、ローラー（市販品）がけをします。
この作業を3回程度繰り返し行い、芝の軸（茎）だけ（芝地より約3mmの高さ）が埋まるよう仕上げます。散水は毎日（1日1回）行います。
- 目土は芝用目土か川砂（粒子3号程度）をお使いください。



3 約5mmに刈り込む

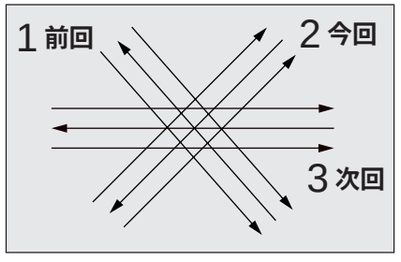
- 目土を入れてから約15日後、いよいよ刈り込みます。EY2272の刃の刈り高さを5mmに調節して、毎日、または1日おきに刈り込みます。

※芝地が平坦でないと、固定刃と芝地が引っかかる場合がありますので必ずローラー（市販品）がけをして平坦にしてください。無理に刈り込んだ場合芝地を痛める原因になります。



4 刈り込み方向

- 芝刈りは、芝目が一定方向にならないように毎回角度を変えて行ってください。



お手入れ

⚠注意

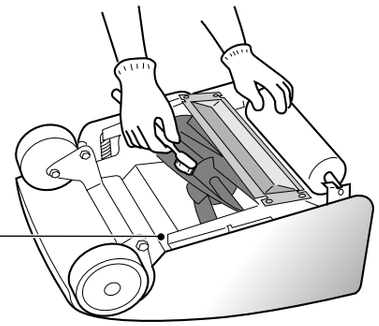
- **スイッチを切って、刃の回転音が聞こえなくなっても、刃が止まらずに回転していることがありますので、刃の点検やお手入れは必ず刃が止まっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

守らないと、けがのおそれがあります。

リール刃

必ず、手袋を着用してください。

刃についた汚れを落とす。
（刃の保護のため古い歯ブラシを
ご使用ください）



本体

- 通常は乾いた柔らかい布でかるくふく。
（集草カゴは、こまめに内部をふいてください）
- 汚れがひどいときは薄めの台所用中性洗剤を含ませた布でふく。
水洗いやベンジン、シンナーなどの使用は、絶対にしないでください。

保管

1 伸縮ポールを縮める

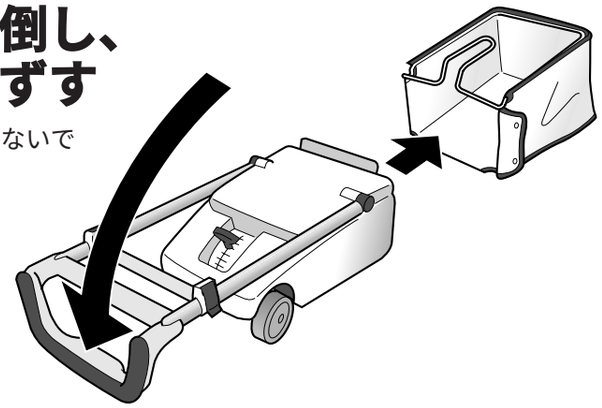
- 調節のしかたはP5をご参照ください。

❶伸縮レバーを開いて
伸縮ポールをこの位置まで下げる

❷伸縮レバーをロックする

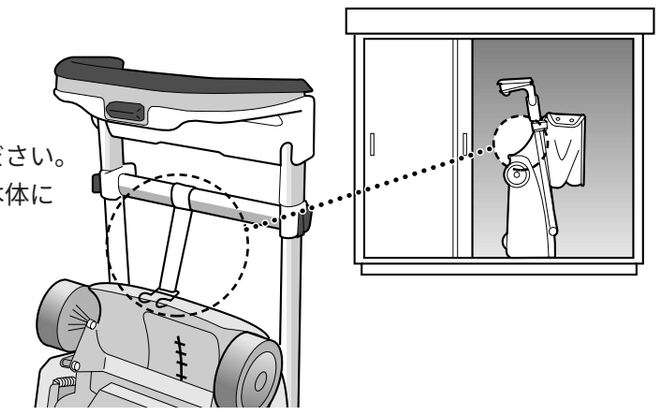
2 伸縮ポールを倒し、集草カゴをはずす

- ハンドル部は取りはずさないで
ください。



3 高温・湿気を避け、子供が容易に触れないところに保管する

- 吊り下げて保管しないでください。
- 必ずハンドル固定フックを本体に
引っかけてください。
（伸縮ポールが倒れるため）



⚠注意

- **使用しない場合は乾燥した場所で、子供が勝手に触れないところに保管してください。**

守らないと、事故のおそれがあります。

切れ味が悪くなったら（リール刃の交換）

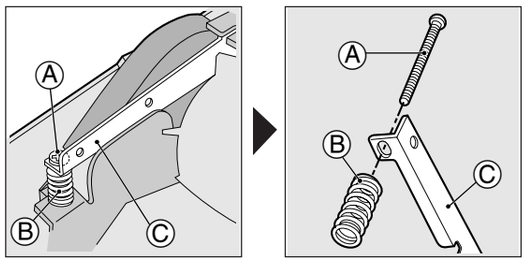
⚠警告

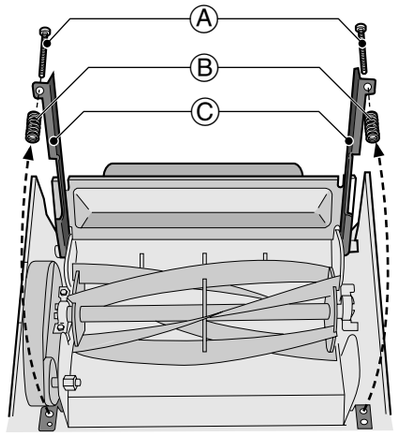
- 交換時は必ずスイッチレバーをはなし、延長コードプラグをコンセントから抜いて、ケガ防止のため、必ず手袋を着用のうえ行ってください。

- 交換の際は必ず専用刃をお使いください。（詳しくはP19「別売品」参照）
- 刃を取り付けた後は確実にネジを締めてください。
- 交換後は必ず、すき間調節してください。（P5～P6参照）

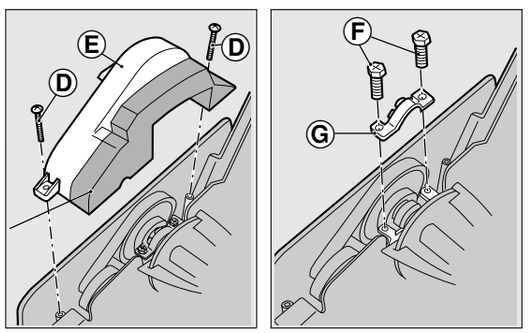
リール刃の交換

1 本体を裏返し、Ⓐ調節ネジ（2本）とⒷバネ（2本）をはずして、Ⓒリール刃固定支を上げる

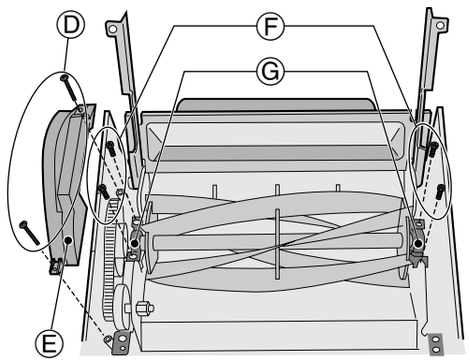




2 Ⓓプーリカバー固定ネジ（2本）をはずして Ⓔプーリカバーを取り、Ⓕリール刃固定ネジ（4本）をはずして Ⓖリール刃固定板を取る



防塵のためのクッションです。はがさないでください。

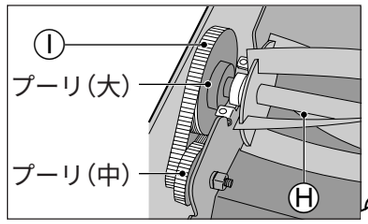


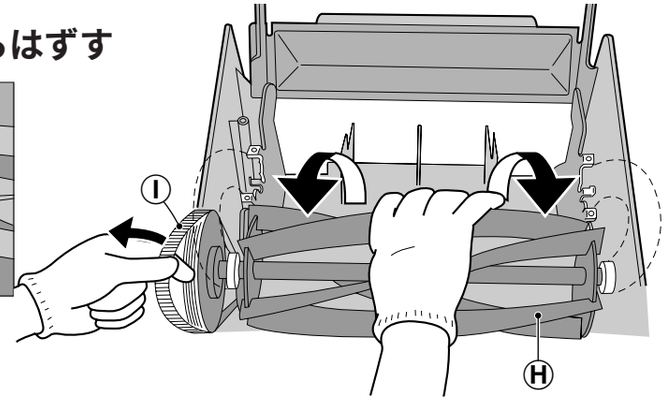
⚠注意

- 刃の交換は別売の専用替刃をお求めいただき、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。

正しく交換されないと事故やけがのおそれがあります。

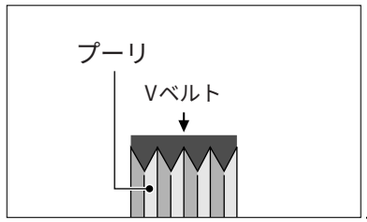
3 Ⓗリール刃を上げながら手前に移動させ ⒾVベルトをはずして Ⓗリール刃を本体からはずす



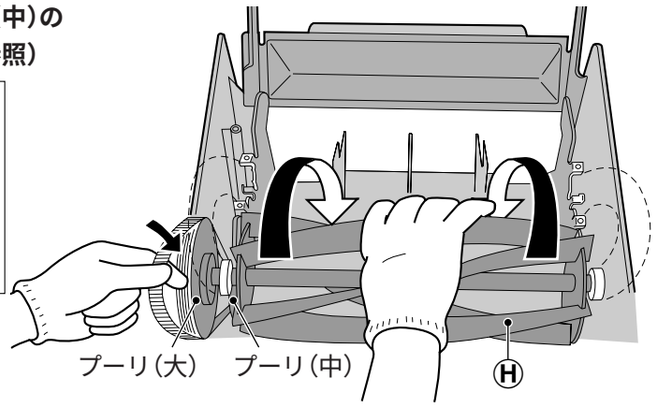


4 新しい刃をベルトに取り付ける

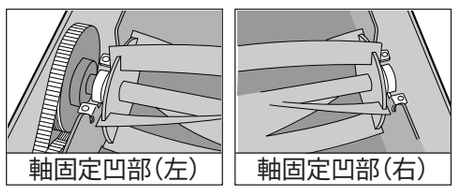
❶ベルトをプーリ（大）、プーリ（中）の溝に確実にはめ込む。（下図参照）

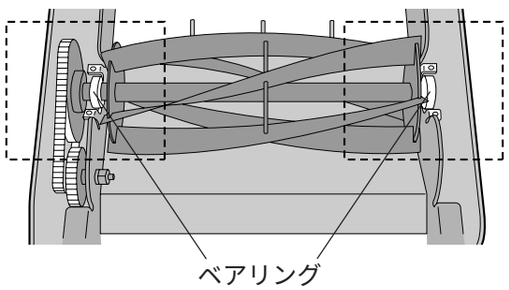


※確実にはまっていない場合は故障の原因になります。



❷ リール刃のベアリングを本体左右の軸固定凹部へ確実にはめ込む。





5 手順1・2と逆の手順で、Ⓖ・Ⓔ・Ⓒ・Ⓑの各部品をⒻリール刃固定ネジ・Ⓓプーリカバー固定ネジ・Ⓐ調節ネジで確実に締める

刃の寿命（目安） 使用頻度によって異なりますが、春・夏・秋は週1回、冬は2週間に1回の芝刈りを目安とした場合、リール刃・固定刃は4年です。
(年20回・40坪の芝地を刈込んだ場合)

切れ味が悪くなったら（固定刃の交換）

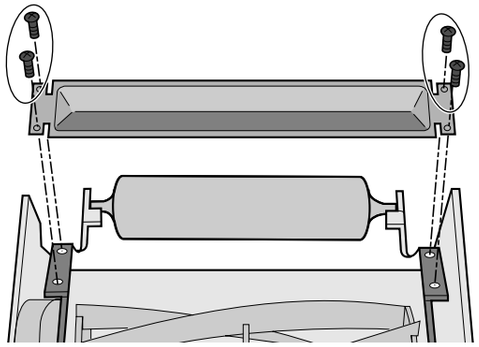
⚠警告

- 交換時は必ずスイッチレバーをはなし、延長コードプラグをコンセントから抜いて、ケガ防止のため、必ず手袋を着用のうえ行ってください。

- 交換の際は必ず専用刃をお使いください。（詳しくはP19「別売品」参照）
- 刃を取り付けた後は確実にネジを締めてください。
- 交換後は必ず、すき間調節をしてください。（P5～P6参照）

固定刃の交換

1 ネジ（4本）をはずす

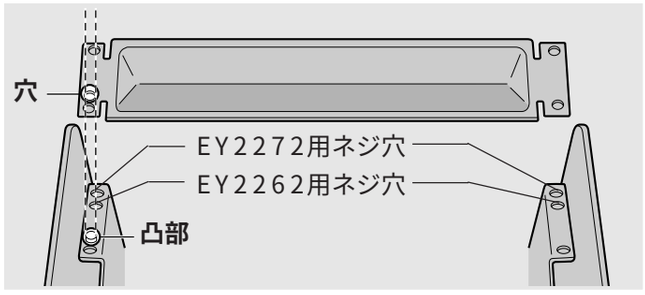


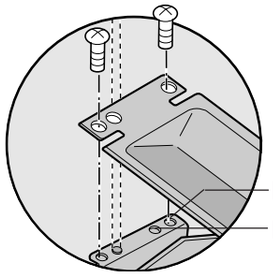
2 新しい刃を取り付ける

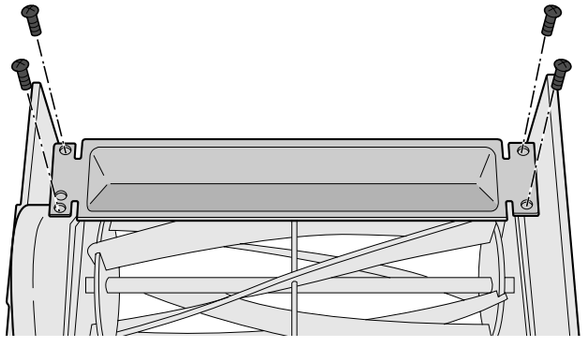
❶固定刃の穴と
リール刃固定支の凸部を
合わせる。

❷ネジ（4本）を締める。

※機種によって本体側の
ネジ穴が違いますので
ご注意ください。







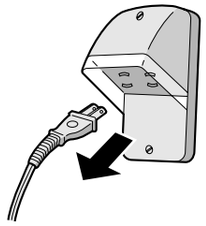
⚠注意

- 刃の交換は別売の専用替刃をお求めいただき、取扱説明書に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
  正しく交換されないと事故やけがのおそれがあります。

芝や異物がからんで動かなくなったときは

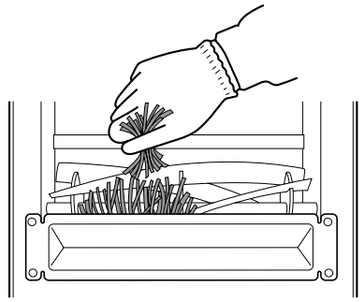
刃に芝や異物などがからんだり、巻き込んだりすると、モータ保護のためブレーカーが作動して、リール刃が回転しなくなります。
そのときはケガ防止のため、必ず手袋を着用のうえ、以下の要領で復帰させてください。

1 スイッチレバーをはなし、
延長コードプラグを
コンセントから抜く



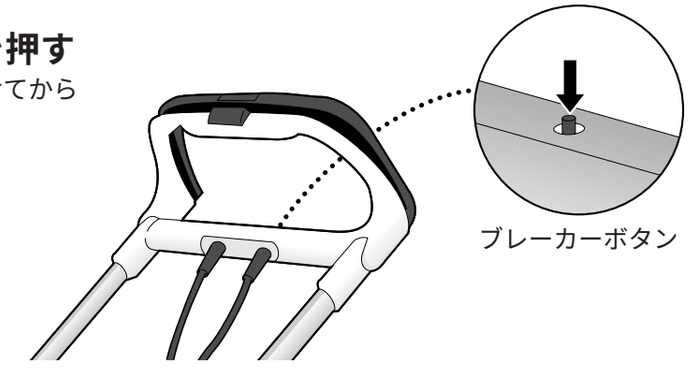
2 刃にからんだ芝や異物
などを取り除く

- 刃に気を付けてください。
  （刃の取りはずしかたはP15～P17参照）



3 ブレーカーボタンを押す

- 15秒以上本体を休止させてから
  押してください。



4 延長コードプラグをコンセントに差し込み、
スイッチを入れて動作確認する

- 異常音がする場合は、点検・修理に出してください。（P23参照）

仕様／別売品

仕　様

EY2272

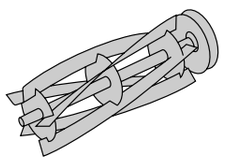
電　　源	AC100V　50／60Hz
消 費 電 力	300W
質 量（重 量）	9.6kg(集草カゴ含む)
大　き　さ	長さ717×幅352×高さ348(mm)(集草カゴ含む)
刈り込み高さ	6段階調節　　5・8・12・15・20・25(mm)
刈 り 込 み 幅	260mm

EY2262

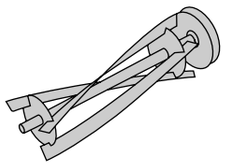
電　　源	AC100V　50／60Hz
消 費 電 力	300W
質 量（重 量）	8.8kg(集草カゴ含む)
大　き　さ	長さ714×幅316×高さ257(mm)(集草カゴ含む)
刈り込み高さ	5段階調節　　8・12・15・20・25(mm)
刈 り 込 み 幅	230mm

別売品

● EY2272専用5枚リール刃
EY8201
標準価格 10,000円(税別)

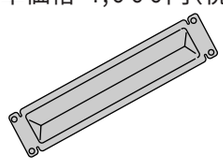


● EY2262専用3枚リール刃
EY8203
標準価格 8,000円(税別)

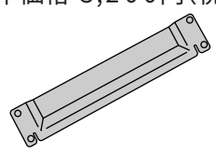


● 延長コード(15m)
EY801
標準価格 2,400円(税別)

● EY2272専用固定刃
EY8202
標準価格 4,000円(税別)



● EY2262専用固定刃
EY8204
標準価格 3,200円(税別)



⚠注意　**● 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。**
事故やけがの原因になります。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症　状	考えられる原因	処　置
芝がうまく刈れない	刃先のワレ、カケ、磨耗、変形など。	刃を交換してください。（P15～17参照）
芝を刈って数日後、芝の葉先がかれる	刃のすり合わせが、正しくない。	刃のすり合わせ調節を行ってください。（P5～6参照）
動作しない	ブレーカーが作動している。	刃や軸にからんだ芝・異物などを全て取り除いてから、ブレーカーを復帰させてください。（P18参照）
	電源コードが正確に接続されていない。	正しく接続してください。（P8参照）
	電源コードや延長コードが断線している。	電源コード、延長コードが切断していないか確認してください。

上記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
● お買い上げの販売店へお持ちください。

オーバーシードについて

コウライシバなどの日本シバは、暑さに強く寒さに弱いため、秋冬は茶色く枯れたようになります。逆に西洋シバは寒さに強い品種や比較的暑さに強い品種など様々な種類がありますので、西洋シバを使ってオーバーシード（上から種をまくこと）すれば一年中グリーンの芝生が作れます。

●日本シバ＋西洋シバで一年中グリーンにする方法もあります。詳しくは下欄をご覧ください。

※お断り：オーバーシードは栽培条件、天候などによりその結果が異なる場合があります。
お客様ご自身の判断と責任のもと実施してください。

オーバーシードの方法

1 オーバーシードの時期

9月初旬～10月中旬に行います。

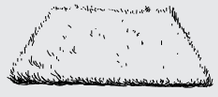
2 西洋シバの種の入手

❶ 西洋シバだけで1年中グリーンにしたい場合、寒地型と暖地型の種をブレンドした混合種をホームセンターや園芸店でお求めください。

❷ 日本シバ＋西洋シバで1年中グリーンにしたい場合、西洋シバ（ペレニアルライグラスまたはトールフェスク）の種を園芸店でお求めください。

3 シバの刈り込み

オーバーシードする前に、現在生えている芝を8～10mmに刈り込んで、オーバーシードする西洋シバの種が地面に届きやすいようにします。



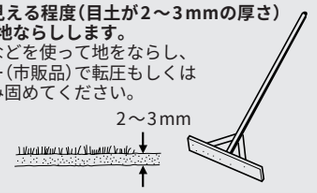
4 オーバーシード

西洋シバの種を芝用目土に均一に混ぜ、芝地全体にまんべんなく蒔いてください。種と目土の混合比（m²あたり）種40～50g/目土2L

5 地ならし ［目土は芝用目土か川砂（粒子3号程度）をお使いください。］

元の芝が見える程度（目土が2～3mmの厚さ）に、全体を地ならしします。

●トンボなどを使って地をならし、ローラー（市販品）で転圧もしくは足で踏み固めてください。



6 水やり

オーバーシードした所にたっぷりと水をやります。

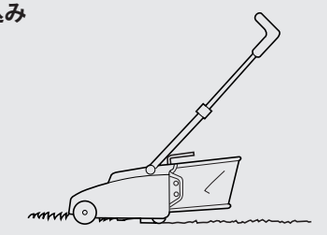
7 発芽

約1～2週間で発芽します。
発芽が少ないところには再度、西洋シバの種を蒔いてください。

8 西洋シバの刈り込み

発芽後約3～4週間し、根付きもしっかりしたら、刈り込んでさらにしっかり根付くようにします。

※刈り高さは12mm以上で刈り込んでください。



芝生の年間お手入れ計画（美しい芝生づくりには、芝刈りだけでなく、除草・殺菌などのきめ細かなお手入れが必要です。）

下表は一般的な方法であり、栽培条件や天候等により結果が異なる場合があります。

芝の組み合わせ	春 3月・4月・5月	夏 6月・7月・8月	秋 9月・10月・11月	冬 12月・1月・2月
西洋シバ（混合種）	■ 刈り込み：1週間に1度刈り込む。 ■ 目土　：4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■ 水やり　：1週間に1～2度、全体に表面が濡れる程度に。 ■ 施肥　：4月に入ったら月に1度芝用肥料をやります。	■ 刈り込み：1週間に1度は刈り込む。 ■ 水やり　：2日に1度、朝か夕にたっぷりと。（梅雨どきは降雨量に合わせて調節） ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。 注）●生長旺盛な時期なので小まめな芝刈を。つねに芝高約12mmキープを目安に。 ●土の温度を下げるために、水やりも小まめに。病気の防止にもなります。	■ オーバーシード：9月初旬～10月中旬に寒地型と暖地型の西洋シバのブレンド種を蒔きます。オーバーシードした翌年からは、芝の少ないところに再度種を追い蒔きしてください。（ベースが日本シバの場合、混合種の西洋シバを追い蒔きすると、2～3年後に西洋シバに変わります。）（初年度のみ） ■ 刈り込み：1週間に1度必ず刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に1～2度たっぷりと。 ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。 ☆追い蒔き 西洋シバが伸び、生え方にムラが出てきたら芝の少ない所に再度種を蒔きます。	■ 刈り込み：2週間に1度刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に1度、全体に表面が濡れる程度に。 ■ 施肥　：不要です。
	1年中グリーン			
日本シバ＋西洋シバ（●ペレニアルライグラス ●トールフェスク）	■ 刈り込み：2週間に1度必ず刈り込む。 ■ 目土　：4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■ 水やり　：週に1～2度、全体に表面が濡れる程度に。 ■ 施肥　：月に1度芝用肥料をやります。4月後半に西洋シバを25mm程度まで伸ばした後、8～10mmに刈り込んで、日本シバと切り替えます。	■ 刈り込み：1週間に1度は刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に2度、朝か夕にたっぷりと。（梅雨どきは降雨量に合わせて調節） ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。 注）●生長旺盛な時期なので小まめな芝刈を。つねに芝高約12mmキープを目安に。 ●土の温度を下げるために、水やりも小まめに。病気の防止にもなります。	■ オーバーシード：9月初旬～10月中旬に寒地型の西洋シバ（ペレニアルライグラスまたはトールフェスク）の種を蒔きます。（毎年） ■ 刈り込み：1週間に1度必ず刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に1～2度たっぷりと。 ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。 ☆追い蒔き 西洋シバが伸び、生え方にムラが出てきたら芝の少ない所に再度種を蒔きます。	■ 刈り込み：2週間に1度刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に1度、全体に表面が濡れる程度に。 ■ 施肥　：不要です。
	1年中グリーン		1年中グリーン	
日本シバのみの庭	■ 刈り込み：芝が緑になり始めたら、2～3週間に1度刈り込む。 ■ 目土　：4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■ 水やり　：1週間に1～2度、全体に表面が濡れる程度に。 ■ 施肥　：4月に入ったら月に1度芝用肥料をやります。	■ 刈り込み：1週間に1度は刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に2度、朝か夕にたっぷりと。 ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。	■ 刈り込み：2週間に1度刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に1度、全体に表面が濡れる程度に。芝が枯れだしたらやめます。 ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。定期的にやるとグリーンが長持ちします。	■ 刈り込み：不要です。 ■ 水やり　：不要です。 ■ 施肥　：不要です。
	・・・・茶色く枯れた状態・・・・	グリーン	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・茶色く枯れた状態・・・・・・・・・・・・
西洋シバ（単一種）のみの庭	■ 刈り込み：1週間に1度刈り込む。 ■ 目土　：4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■ 水やり　：1週間に1～2度、全体にやります。 ■ 施肥　：月に1度芝用肥料をやります。	■ 刈り込み：1週間に1度は刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に3度、朝か夕にたっぷりと。 ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。	■ 刈り込み：1週間に1度刈り込む。 ■ 水やり　：1週間に1度、全体にやります。 ■ 施肥　：月に1度全体に均一に。 ☆追い蒔き 芝の状態にムラができた場合は、芝の少ない所に追い蒔きを。	■ 刈り込み：2週間に1度刈り込む。 ■ 水やり　：不要です。 ■ 施肥　：不要です。
	グリーン	グリーン（病気にかかりやすい状態）	グリーン	

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し刃は消耗品ですから修理対象外です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの芝刈機(リール式)の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の20頁に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

- **保証期間中は**
  お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。
  保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**
  お買い上げの販売店にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は「修理ご相談センター」
ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-081-365**(ハイ 365日)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

札幌 ☎011-261-6401　大阪 ☎072-878-8999
東京 ☎03-5392-7190　福岡 ☎092-622-0531
名古屋 ☎052-551-7900

商品・お取扱いなどのご相談は「お客様ご相談センター」
ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-081-713**(ハイ ナイス)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

松下電工お客様ご相談センター
☎ 06-6904-4382
FAX 06-6904-4471
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0305

松下電工株式会社　パワーツール事業部
〔〒522－8520〕滋賀県彦根市岡町33番地

EY901022621　305-5YY③